



租界時代の異国情緒あふれる建物が残る

アモイ

厦門 Xià Mén

市外局番 0592



概要と歩き方

アモイは福建省の南東部、九龍江の河口に位置する港湾都市で、対岸は台湾。中心となるのは東西13km、南北14kmのアモイ島。「アモイ」は廈門を地元の言葉の閩南語（福建省南部で話される言語）読みしたもので、国際的にも通用している。

アモイには白サギが多く生息していたことから、鷺島、鷺門という名でも呼ばれた。そのため現在でも特産品や地名に「鷺」の字が使われているものが多い。

史料によれば、アモイは唐の天寶年間（8世紀半ば）に福安と漳州から薛氏と陳氏が島に移住したときに始まったとされる。宋代に行政に組み込まれ、明の洪武年間（14世紀後期）に城が築かれて『祖国大廈之門』（祖国の大きな家の門）と呼ばれたため「廈門」の名が付いた。明末清初には、鄭成功がアモイや台湾を拠点に清への抵抗運動を続けた。

また、アモイ港は水深が12m以上あり、かつ周囲の陸地や島が防波堤の役割を果たしている天然の良港のため、明の正徳年間（16世紀前期）以降は中国有数の茶葉輸出港として繁栄。アヘン戦争の講和条約である南京条約（1842年）により開港され、コロンス島（鼓浪嶼）に洋館が建設された。

アモイは1980年に経済特区に指定され、1984年にコロンス島を含むアモイ全島が経済特区となった。2008年のひとり当たりの総生産は9200USドルと中国



コロンス島渡し船埠頭から見た夕日

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温(℃)	16.8	16.4	18.6	22.5	26.6	29.4	32.0	32.0	30.7	27.6	23.5	19.5
平均最低気温(℃)	10.2	10.3	12.3	16.3	20.7	23.9	25.8	25.7	24.4	20.9	16.7	12.6
平均気温(℃)	13.1	12.9	15.1	19.1	23.3	26.3	28.5	28.5	27.3	23.9	19.8	15.6
平均降雨量(mm)	35.4	73.8	94.5	135.2	160.6	185.1	140.1	155.0	104.2	35.7	32.4	27.8

都市データ

アモイ市

人口=174万人
面積=1569km²
6区を管轄

市公安局出入境管理处 (市公安局出入境管理处)

- 📍 P.140-A3
- 📍 思明区鎮海路64号
- ☎ 2262203
- 🕒 5~9月8:00~11:45、15:00~17:45
10~4月8:00~11:45、14:30~17:15
- 📅 日曜、祝日
- 👁 観光ビザを最長30日間延長可能。手数料は160元。

アモイ大学付属中山医院 (厦門大学附属中山医院)

- 📍 P.140-B2
- 📍 思明区湖濱南路201号
- ☎ 2292104
- 🕒 24時間
- 📅 なし

市内交通

- 【路線バス】 運行時間の目安は6:00~22:00、市区1~2元、郊外1~4元
- 【タクシー】 初乗り3km未満8元、3km以上1kmごとに2元加算。さらに燃油代1元加算

国内でも上位に位置する。華僑資本を中心とした外資が多数進出し、日本企業も多い。

繁華街は島南部の中山路と思明南路の中山路寄りの部分。中山路は2階以上を歩道の上まで延ばす、華南地区特有の建築様式を持つ。このエリアは観光にも便利だが、宿泊費は総じて高い。予算が限られている場合はアモイ駅周辺等の安いホテルを利用するとよい。

アモイ最大の観光スポットは古い洋館が建ち並ぶコロンス島。島にもいくつかのホテルがあり、アモイ島より静かな環境が魅力。風情ある町並みが美しく、国内でも有名な観光地となっている。多くの観光客が訪れる一方で、のんびりと島内で生活を続けている市民がいる。ここは1日かけてじっくりと回りたい。また、コロンス島や胡里山砲台のあるアモイ大学近くには雰囲気の良いビーチがあり、散策にもよい。



いつも観光客でにぎわっている中山路

インフォメーション

- 市気象局レーダータワー
- 📍 P.140-A2
- 📍 湖里区狐尾山公園気象局
- 🕒 8:30~17:00 📅 なし
- 📄 25元

狐尾山公園の気象局敷地内にある展望タワー。隣にはアモイ市青少年天文気象館がある。



天気よければアモイ市全体を見渡せる



● 見どころ ● ホテル 〰 鉄道 〰 高速道路 〰 幹線道路 〰 一般道 〰 空港

飛行機

空港見取り図→P.332、中国国内の移動→P.344

アモイ高崎国際空港は、アモイ島の北端にあり、市の中心部から12km。リムジンバスはないが、27路バス(空港～コロンス島フェリー埠頭)と37路バス(空港～アモイ駅)が利用できる。1元、所要約1時間。タクシー利用の場合40～50元、所要約30分。

日中就航便(毎週)

成田7便(全日空)

国内就航便(毎週)

北京首都87便 長春18便 フフホト4便
長沙33便 成都35便 重慶37便 大連15便
福州7便 広州70便 桂林14便 貴陽14便
海口24便 杭州71便 香港27便 マカオ12便
ハルビン18便 合肥24便 連雲港4便
済南32便 昆明45便 蘭州11便 南昌45便
南京38便 南寧13便 寧波21便 青島38便
ウルムチ11便 上海浦東21便 上海虹橋105便
三亜14便 瀋陽31便 深圳53便 石家荘11便
太原15便 天津24便 温州15便 武漢42便
武夷山42便 西安37便 徐州7便 銀川7便
鄭州35便 舟山7便 珠海6便

アモイ高崎国際空港(厦門高崎国際機場)

M P.137-B1 湖里区翔雲一路100号

☎ 96363 始発便～最終便出発まで

🚫なし 🚫不可

空港内の航空券売り場で3ヵ月以内の航空券を販売。

全日空アモイ支店(全日空公司厦門支店)

M P.140-A3

📍思明区鎮海路12-8ミレニアムハーバービューホテルアモイ2階205号室

☎ 4008828888(中国サービスセンター)

🕒 9:00～17:00 📅土・日曜、祝日 🚫ADJMV



日本からの定期就航便があるアモイ高崎国際空港

厦門航空梧村航空券売り場

(厦門航空梧村售票處)

M P.140-C2 思明区慶禾路915号厦門友誼商場1階

☎ 5808335 🕒 8:30～18:00

🚫なし

🚫MV

3ヵ月

以内の

航空券

を販売。



アモイ駅付近の厦門航空梧村航空券売り場

鉄道

中国国内の移動→P.346

2010年4月に福州～アモイ間の高速鉄道、福厦鉄路が開通し、上海まで約7時間30分と便利になった。

アモイ(xm)発のおもな列車

広州東(gzd) / 1日2本(全始発)、快速14時間34分

深圳(sz) / 1日1本(始発)、快速16時間26分

肇慶(zq) / 1日1本(始発)、快速18時間7分

東莞東(dgd) / 1日2本(全始発)、快速13時間26分

福州(fz) / 1日22本(全始発)、動車組1時間39分

泉州(qz) / 1日2本(全始発)、動車組38分

永定(yd) / 1日2本(全始発)、快速6時間34分

武夷山(wys) / 1日1本(始発)、快速13時間34分

南寧(nn) / 1日1本(始発)、快速27時間52分

南昌(nc) / 1日5本(全始発)、快速15時間22分

九江(jj) / 1日2本(全始発)、快速17時間25分

廬山(ls) / 1日2本(全始発)、快速17時間5分

景德鎮(jdz) / 1日3本(全始発)、普快19時間5分

北京西(bjx) / 1日1本(始発)、直達33時間14分

上海虹橋(shhq) / 1日3本(全始発)、動車組7時間21分

アモイ駅(厦門火車站)

M P.140-C2 思明区慶禾路 ☎ 2038888

🕒 6:30～23:30 🚫なし 🚫不可

10日以内の切符を販売。

コロンス島渡し船埠頭移動切符販売車

(火車票移動售票車)

M P.142-A2

📍思明区コロンス島渡し船埠頭

🚫なし 🕒 8:30～12:00、13:00～17:30

🚫なし

🚫不可

10日以内

の切符を販

売。手数料

は1枚につき

5元。



車を利用したユニークな切符売り場

バス

中国国内の移動→P.348

湖濱長距離バスターミナル

(湖濱長途汽车站)

M P.140-A2 思明区湖濱南路59号

☎ 2215238 🕒 6:00～22:30 🚫なし 🚫不可

3日以内の切符を販売。バスターミナル内の旅

遊切符売り場(旅游售票處)では、永定土楼(洪坑

土楼群)と田螺坑土楼群の1日ツアー(ガイド代、

交通費、入場料、昼食代込み各180元)の申し込み

ができる。ただし、ガイドは中国語しか話せない。

龍岩(龙岩) / 6:30～22:00の間30分に1便。76元、

所要約2時間40分

永定(永定) / 7:10～16:00の間に7便。70元、所要

約3時間30分

7:10、11:50、13:00発の便は洪坑土楼群景区を

経由する。洪坑土楼群景区まで43元、所要約3時

間

湖坑(湖坑) / 9:10発。洪坑土楼群景区を経由する。

洪坑土楼群景区まで43元、所要約3時間

下洋(下洋) / 6:50、12:40発。洪坑土楼群景区を

経由する。洪坑土楼群景区まで43元、所要約3時間

田螺坑(田螺坑) / 8:30発。41元、所要約3時間30分

華安(華安) / 8:10、11:20、14:35、17:50発。25元、

所要約3時間

泉州(泉州) / 7:20～13:20の間に8便、19:10～22:55

の間に12便。180～220元、所要約9時間

深圳(深圳) / 7:20～12:20の間に8便、寝台バス

20:00～22:50の間に9便。150～200元、所要約8時間

桂林(桂林) / 8:50発。240元、所要約20時間

香港(香港) / 21:30発。250～350元、所要約13時間



湖濱長距離バスターミナル内の旅游切符売り場。土楼ツアーやアモイ島周遊観光バスのチケットを扱っている

松柏長距離バスターミナル

(松柏長途汽车站)

M P.140-C1 湖里区蓮岳路211号

☎ 5089328 🕒 6:00～22:20 🚫なし 🚫不可

3日以内の切符を販売。

泉州(泉州) / 6:20～21:30の間15分に1便。32～45

元、所要約1時間20分

崇武(崇武) / 6:30～18:10の間1時間に1便。45元、

所要約2時間40分

武夷山(武夷山) / 9:30発。185元、所要約9時間

上海(上海) / 14:20、16:50、18:20発。198～221元、

所要約10時間

梧村長距離バスターミナル

(梧村長途汽车站)

M P.140-C2

📍思明区慶禾路アモイ駅向い

☎ 3655505 🕒 6:00～21:30 🚫なし 🚫不可

3日以内の切符を販売。行き先は泉州地区と漳

州地区のみ。

泉州(泉州) / 6:20～21:30の間20分に1便。32～45

元、所要約1時間20分

漳州(漳州) / 6:30～21:30の間20分に1便。20元、

所要約1時間20分

船

中国国内の移動→P.348

アモイから台湾の金門島への国際フェリーが出

ている。フェリー乗り場は2カ所あるが、アモイ

島西部にある東渡国際フェリーターミナルのほうが

便も多く、アクセスもよい。

出国手続きが必要なため、出発時刻の30分前

にチケットの販売は終了。アモイから金門島までの

フェリーと金門島から台湾本土までの飛行機を

セットにしたものも、港の旅行会社で販売されて

いる。中国台湾間の出入国手続きは、出入国カード

に記入し、パスポートと一緒に提出するだけ。

税関の荷物検査も簡単。

東渡国際フェリーターミナル

(東渡国際邮轮中心)

M P.140-A2

📍湖里区東渡路 ☎ 2022517

🕒 7:00～16:00 🚫なし 🚫不可

市内から26、43、102、522路バス「国際邮轮碼

頭」下車。

金門島(金門島) / 8:30～17:15の間に12便。160元、

所要約1時間20分

五通客運埠頭(五通客運碼頭)

M P.137-B1

📍湖里区環島東路2500号

☎ 3216666 🕒 7:00～16:00 🚫なし 🚫不可

アモイ島北部に位置する。市中心部からのア

クセスが悪く、

タクシー利用の

場合50～60元。

金門島(金門島)

/ 9:30、10:30、

12:30、14:30、15:30、17:15発。160

元、所要約40分



台湾の金門島行き国際フェリー

中心部の見どころ

★★★ 1000年以上の歴史を誇る名刹 1~2時間

南普陀寺/南普陀寺
なんふだじ nānpǔtuó sì

南普陀寺は、唐代に建設された仏教寺院。初名を泗州寺というのが、浙江省にある普陀山の南に位置することからこう呼ばれるようになった。1000年以上の歴史を誇る寺院だが、たび重なる破壊に遭い再建を繰り返している。敷地面積は3万㎡以上あり、天王殿、大雄宝殿、大悲殿、藏経閣などが並んでいる。天王殿の入口前には池がふたつあり、その池の間に仏像が安置されている。大雄宝殿内には過去、現在、未来を表す三世尊仏が祀られている。

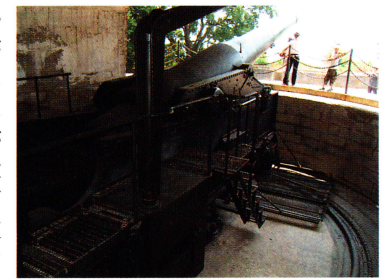


有名な仏字岩

1925年には国内で最も早期の仏教学府閩南仏学院が創設され、1934年には弘一、和今のふたりの高僧により仏教養老院も建てられた。十数年の間に200人以上の僧侶を育て、そのなかにはマレーシア、シンガポール、フィリピンなど東南アジア諸国に貢献した者も少なくない。寺院後方の五老峰には遊歩道が整備されており、その展望台から見える南普陀寺と海の景色がすばらしい。また、アモイ園林植物園の五老峰入口ともつながっている。

★★ ドイツ製の巨大大砲が残る
胡里山砲台/胡里山砲台
こりさんほうたい húlǐshān pàotái

アモイ島の南海岸、胡里山に位置する。胡里山砲台の望楼台からは、台湾領に属する大担島、二担島を見ることができる。砲台は、1891年(清の光緒17年)から建設が始まり5年後に完成した。現在でも数多くの大砲が残っており、なかでもドイツから購入した大砲が有名。砲口直径は28cm、砲身長全長は13.9m、射程距離が約16kmで、この大砲1門の金額は6万テールにも達し、支払いには約2.2トンの銀が用意された。



ドイツ製の280mmクルップ砲

南普陀寺
P140-B3
思明区思明南路515号
2086586
5月1日~10月7日 4:00~18:30
10月8日~4月30日 4:00~18:00
なし
3元
1、15、18、21、29、35、45、47、71路バス「厦大」
www.nanputuo.com



ここで入場券を買って境内に入る



展望台からの美しい景色

胡里山砲台
P140-B3
思明区環島南路
2099603
5月1日~10月7日7:30~18:00
10月8日~4月30日7:30~17:30
なし
25元
2、20、22、29、48、86、87路バス「胡里山」
www.hlspt.cn



大小さまざまな大砲がある



●見どころ ●ホテル ●グルメ ●ショップ ●旅行会社 ●学校 ●病院 ●繁華街

アモイ園林植物園

📍 P.140-B2
 📍 思明区虎园路25号
 ☎ 2038471
 🕒 5月1日～10月7日5:30～18:30
 10月8日～4月30日6:30～18:00
 📺 なし
 🎫 40元
 🚌 87路バス「植物園」。3、12、18、19、21、27、32、35、51路バス「一中」
 🌐 www.xiamenbg.com

★ アジア最大規模の屋外サボテン園がある
アモイ園林植物園/厦门园林植物园
 えんりんしよくぶつえん xiàmén yuánlín zhìwùyuán

アモイ園林植物園は、万石植物園とも呼ばれる。広大な園内には6000種以上の亜熱帯および熱帯の植物が植えられている。園内は熱帯雨林を模した雨林世界、アジア最大の屋外サボテン園、温室内のサボテン園も見応えがある松杉園、薬用植物園などに分かれている。植物園を含めた一帯は万石山景区となっており、天界寺や白鹿洞などの観光スポットがある。



温室内のサボテン園も見応えがある

アモイ大学魯迅紀念館

📍 P.140-B3
 📍 思明区アモイ大学集美楼2階
 📺 なし
 🕒 8:30～17:30
 📺 月曜
 🎫 無料
 🚌 22、29、47、48、87路バス「厦大西村」



魯迅紀念館の入口

★ 魯迅のアモイでの教師生活がうかがえる
アモイ大学魯迅紀念館/厦门大学魯迅紀念館
 だいかくろしんきねんかん xiàmén dàxué lǔxùn jìniànguǎn

南普陀寺の南側、アモイ大学の集美楼2階にある。魯迅は1926年9月から翌年1月までアモイ大学で教鞭を執っていた。1952年に彼が以前使用していた部屋を利用し、この記念館が創設された。館内には5つの展示室があり、青少年時代、アモイ大学時代、広州時代、上海時代等の直筆原稿や写真を通して魯迅の業績を紹介している。また、彼が使用していた部屋には、ベッド、机、イス、書棚、ロッカー等が当時の様子そのまま置かれてあり、その質素な暮らしぶりを見ることができる。



当時魯迅が生活していた部屋

華僑博物院

📍 P.140-A3
 📍 思明区思明南路493号
 ☎ 2084028
 🕒 9:30～16:30
 ※ 入場は閉館30分前まで
 📺 月曜
 🎫 無料
 🚌 1、2、15、18、21、22、45、48、71、87路バス「博物館」

★ 福建華僑についての詳しい展示
華僑博物院/华侨博物院
 かきよはくぶつえん huáqiáo bówùyuán

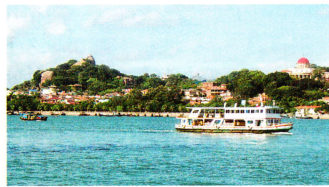
華僑博物院は、華僑の陳嘉庚によって1959年に創建された博物館。1、2階では華僑の社会の歴史と現在の姿を豊富な資料を使って詳しく紹介している。世界中のあらゆる所に存在する中華街の写真などが、世界各国の比較で展示されているのも興味深い。3階には陳嘉庚が保有していた美術品のコレクションが展示されている。

郊外の見どころ

★★★ 異国情緒あふれる洋館が今も残る 🕒 1～2日

コロンス島/鼓浪嶼
 どう gǔlàngyǔ

アモイ島の西南に位置し、もとの名を園沙州といったが、閩沙州（鼓浪嶼）と改名。面積1.78km²の楕円形の小島で、島内の住民は2万3000人。渡し船のうしろにコロンス島が見える美しい景観から「海上明珠」、「海上花園」、また、ピアノの普及率が高く、有名なピアニストを輩出しているため、「ピアノ島」とも呼ばれる。



渡し船のうしろにコロンス島が見える

島の名前は、西南側にある2枚の岩の真ん中に、長年の浸食による穴があいていて、満潮時に波がたたきつけるとまるで太鼓の響きのように聞こえたことから、付けられたといわれている。

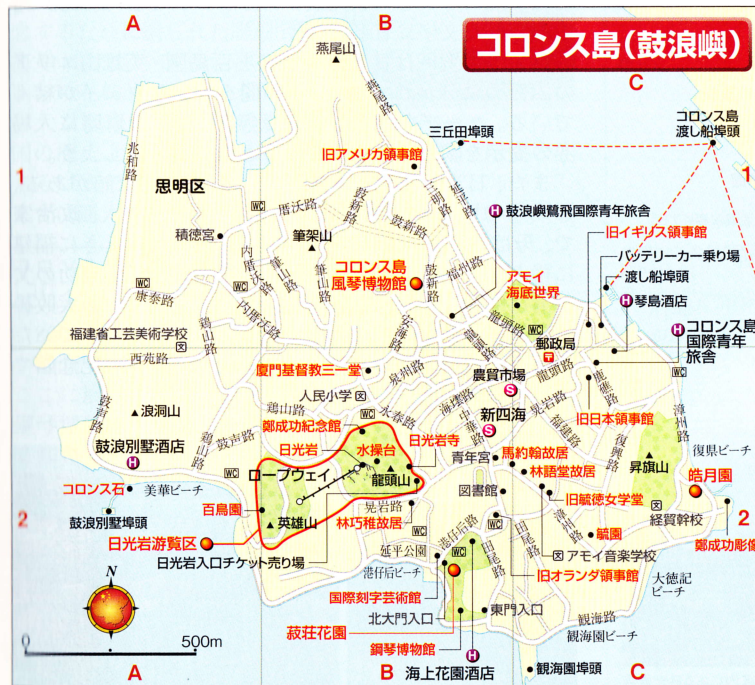
南京条約(1842年)によるアモイ港の開港後、1902年にコロンス島は共同租界地に定められ、イギリス、アメリカ、フランス、日本、ドイツ、スペイン、ポルトガル、

コロンス島

📍 P.143
 📍 思明区鼓浪嶼
 ☎ 2060777(鼓浪嶼旅游中心)
 📺 無料
 🚌 アモイ島発コロンス島行き渡し船運航時間=5:45～翌0:30
 コロンス島発アモイ島行き渡し船運航時間=5:30～24:00
 料金は往復8元
 ※アモイからコロンス島に渡るとき(往路)には払わず、復路でまとめて支払う。2階席は1元加算
 🌐 www.gly.cn

インフォメーション

渡し船乗り場では、コロンス島内にある5つの見どころ(日光岩、菽莊花園、皓月園、コロンス島風琴博物館、国際刻字芸術館)の共通入場券「鼓浪嶼核心景点套票」を100円で販売している。個々に買うより35元割安(有効期間は1日)。



● 見どころ 🏨 ホテル 🍽 グルメ 🛍 ショップ 🏦 銀行 🎓 学校 📧 郵便局 🚻 トイレ

インフォメーション

コロンス島観光電動カート
 コースは渡し船埠頭～燕尾山生態公園(1人10元)～沙灘球場(20元)～鼓浪別墅埠頭(30元)～菽莊花園(40元)。
 ☎ 8:00～18:00
 ☎ なし



島を1周する電動カート

日光岩遊覧区
P.143-B2
 ☎ 思明区鼓浪嶼晃岩路62号
 ☎ 2067284
 ☎ 7:30～18:30
 ☎ なし
 ☎ 60元

鄭成功紀念館
P.143-B2
 ☎ 思明区鼓浪嶼永春路73号
 ☎ 2061921
 ☎ 8:30～16:45
 ☎ なし
 ☎ 日光岩入場料に含まれる



日光岩遊覧区内にある日光岩寺山門

オランダなどの国が次々に領事館、商社、教会、学校、病院などを設立。一方で華僑もまた住宅や別荘を建て、電気や水道のインフラも整備された。1942年12月に日本軍により占領されたが、1949年の中華人民共和国建国にともなって、90年近く続いた外国統治の歴史を終えた。

島には今も租界時代の面影が残り、あちらこちらに雰囲気の良い洋館がある。一般市民が普通に暮らしている建物もあるが、おしゃれなレストランやカフェに改装されているものもあり、優雅な気分になれる。

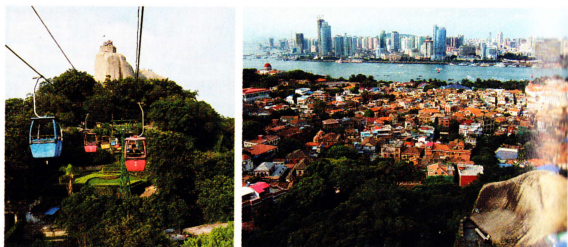
島内では環境保護と安全のため車の使用が制限されているが、渡し船埠頭付近から観光客向け電動カートが反時計回りに島を1周している(約6km)。ただ、コロンス島はそれほど広くはないので、天気によれば歩いて回るのがおすすめ。

日光岩遊覧区 / 日光岩遊覧区 [にっこうがんゆうらんく / rìguāngyán yóulǎnqū]

日光岩はコロンス島の最高峰(92.68m)で、また島内最大の観光スポット。もとの名は晃岩。俗称で岩仔山と呼ばれている。以前、山腹には蓮花庵という名の尼寺があった。1647年に鄭成功が晃岩に登ったとき、日光岩から眺める景色が日本の日光山にまさるものだとして晃の文字をふたつに分け日光岩とし、蓮花庵を日光岩寺とした。日光岩はちょっとしたハイキングも楽しめ、頂上まで行く間にさまざまな刻石があり、なかでも「鷺江第一」と彫られた文字は有名。

日光岩遊覧区は日光岩エリアと百鳥園・英雄山エリアのふたつに分かれており、その間をロープウェイが結んでいる。ロープウェイの料金は無料だが、乗車時に入場券の提示を求められるのでなくさないようにしよう。

また、日光岩遊覧区の北側には鄭成功紀念館がある。鄭成功は明末から清初にかけて活躍した軍人、政治家で、母は日本人。長崎の平戸に生まれ、7歳のときに福建に移り住んだ。明朝再興を図って清に抗戦。鄭成功の父が清に帰順した後も抵抗運動を続けた。南京での大敗後は再起を期して台湾に向かい、当時台湾を支配していたオランダを追い払って抵抗の拠点とした。この記念館ではそんな彼の一生を詳しく紹介している。



ロープウェイのろりに見えるのが日光岩 頂上から望むコロンス島とアモイ市街

菽莊花園 / 菽莊花園 [しゅくしょうかえん / shūzhuāng huāyuán]

菽莊花園は1913年に台湾の富豪林爾嘉によって造られた庭園。その名称は彼の名「叔臧」の発音に近い当て字に由来する。自然の地形を巧妙に利用して設計されており、「藏海園」と「補山園」に区別される。それぞれ、庭園と風景の融和に優れた5つのビューポイントがあり、特に渡月亭から見る海岸は非常に美しい。



中国江南地方の様式を持つ庭園

また、園内には中国唯一のピアノを専門に展示する鋼琴博物館がある。音楽家であり、ピアノの収集家でもあったコロンス島出身の胡友義氏が提供したピアノを中心に、ピアノの歴史がひと目でわかるよう展示されている。特に19世紀のドイツ製やオーストリア製のピアノがすばらしい。また、1日に6回(8:50、9:50、10:50、13:20、14:20、15:20)、自動ピアノによる演奏を聴くことができる。

なお、鋼琴博物館は本館と別館のふたつがあるので見落とさないよう注意しよう。

皓月園 / 皓月園 [こうげつえん / hàoyuèyuán]

コロンス島の南東に位置し、中華民族の英雄である鄭成功を記念するために造られた彫刻公園。海岸には高さ15.7m、重さ1617トンの花崗岩でできた鄭成功の巨大な彫像がある。この像は中国の歴史上の人物彫像の中で最大規模を誇る。彫像のすぐそばまで行ってしまおうと全体像がつかみにくいので、まずは遠くから眺めて観賞し、それから近づくのがよい。



海を見下ろす鄭成功像

コロンス島風琴博物館 / 鼓浪嶼風琴博物館
 [コロンスとうふうきんはくぶつかん / gǔlàngyǔ fēngqín bówùguǎn]

2005年にオープンした中国唯一かつ世界最大のオルガン博物館。ここに展示されているオルガンも鋼琴博物館と同じく、胡友義氏の寄贈によるもの。博物館の入口正面にある高さ6mの巨大なパイプオルガンは1909年イギリス製で、20世紀に製造されたパイプオルガンの傑作といわれている。このほか、自動演奏オルガンや、燭台付きオルガン、鏡付きオルガンなどの珍しいものが見られる。



展示室内の古いオルガン

なお、風琴博物館はコロンス島を代表する洋館「八卦樓」内にある。オルガンだけではなく、建物そのものにも注意して見てみるとさらに楽しむことができる。

菽莊花園
P.143-B2
 ☎ 思明区鼓浪嶼港仔后路5号
 ☎ 2063680
 ☎ 4～9月6:00～19:30
 10～3月6:30～19:00
 ☎ なし
 ☎ 30元

鋼琴博物館
P.143-B2
 ☎ 思明区鼓浪嶼港仔后路5号
 菽莊花園内
 ☎ 2570331
 ☎ 4～9月6:00～19:30
 10～3月6:30～19:00
 ☎ なし
 ☎ 菽莊花園入場料に含まれる

皓月園
P.143-C2
 ☎ 思明区鼓浪嶼漳州路3号
 ☎ 2067284
 ☎ 4～10月6:00～19:30
 11～3月6:30～19:00
 ☎ なし
 ☎ 15元

コロンス島風琴博物館
P.143-B1
 ☎ 思明区鼓浪嶼鼓新路43号
 (八卦樓)
 ☎ 2067284
 ☎ 8:40～17:30
 ☎ なし
 ☎ 20元

陳嘉庚紀念勝地

- 📍 P.137-A1
- 📍 集美区蔡園路24号
- ☎ 6681600
- 📌 陳嘉庚紀念勝地共通入場券=20元
- 🚗 18路バス「龙舟池」、2元。下車後徒歩10分
- 🚗 オート三輪を利用する場合、往復30元が相場（各スポットでの待ち時間を含む）
- 🌐 www.chenjiaqiang.com

陳嘉庚紀念館

- 📍 P.137-A1
- 📍 集美区掃江路8号
- ☎ 6686102
- 🕒 9:00~16:30
- 🌕 月曜
- 🌐 www.tankahkee.cn

蔡園

- 📍 P.137-A1
- 📍 集美区蔡園路24号
- ☎ 6681600
- 🕒 5~9月7:30~18:30
- 🕒 10~4月7:30~18:00
- 📌 なし

陳嘉庚故居

- 📍 P.137-A1
- 📍 集美区嘉庚路149号
- ☎ 6066904
- 🕒 5~9月7:30~18:30
- 🕒 10~4月7:30~18:00
- 📌 なし

★★ 教育に半生を捧げた陳嘉庚が眠る

陳嘉庚紀念勝地/陈嘉庚紀念勝地

ちんかこうきねんしょうち

chén jiāgēng jìniàn shèngdì

アモイ島の北対岸、集美地区に位置する陳嘉庚紀念勝地は、集美の出身者でこの地の解放戦争および教育に多大な貢献をした陳嘉庚の功績を称えて造られた公園。

陳嘉庚は1874年アモイの集美村に生まれ、17歳でシンガポールに渡り、苦勞の末ゴム事業で成功を取めた。ゴム王としてその名を知られ、最盛時には世界各地に支店を持ち、日本にも彼の支店があった。その一方で、彼は教育こそが国の基礎を築くという信念を持ち、1913年に彼が中心となり集美小学を創建し、その後も中学、高校、大学とその規模を広げて集美学村の建設と発展に多大な心血を注いだ。

陳嘉庚紀念勝地は陳嘉庚紀念館、蔡園、嘉庚公園、陳嘉庚故居、歸來堂からなり、総面積は17万㎡に及ぶ。周辺には独特の反り返った軒を持つ閩南様式と呼ばれるスタイルと洋風建築様式の折衷が美しい、集美中学南薰樓や道南樓がある。

陳嘉庚紀念館/陈嘉庚紀念館 [ちんかこうきねんかん/chen jiāgēng jìniànguǎn]

2008年に開館した陳嘉庚の功績を称える記念館。4つの展示室があり、彼の生い立ちから企業家としての成功、日本のアジア侵略による事業の終結、そして、教育家としての集美学村への多大な貢献、同時に祖国を愛い民族の自立を目指した活動等を豊富な展示物で詳細に説明している。



陳嘉庚紀念館の外観

蔡園/熬园 [ごうえん/áo yuán]

陳嘉庚紀念館の南に位置し、陳嘉庚がアモイ解放を記念して、1951年から建造に着手した公園。1961年に彼が亡くなると生前の遺言に従い、ここに埋葬された。蔡園は回樓、解放紀念碑、陳嘉庚陵墓から構成され、高さ28mの解放紀念碑が遠くからでもひととき目立つ。



高さ28mの解放紀念碑

陳嘉庚故居/陈嘉庚故居 [ちんかこうきよ/chen jiāgēng gùjū]

かつての集美学校と陳嘉庚の住居があった場所。以前の建物は日本軍により破壊され、現在見られるものは1955年に復元されたもので、2階には当時の事務室、食堂、会議室の様子が再現されている。

インフォメーション

遊覧船でアモイを観光しよう

アモイ観光といえば、コロンス島をのんびりと歩きながらかつての洋館を眺めたり、日光岩に登って景色を眺めたりすることは有名だが、海上から眺める景色も美しい。コロンス島への渡し船では見られない、海上からのアモイの景色を楽しませてはどうだろうか。

コロンス島遊覧/环鼓浪屿游覧

コロンス島を1周し、アモイ島とコロンス島の両方の風景を觀賞し、コロンス島の三丘田埠頭へ渡る遊覧ツアー。所要時間は約40分。海上からは、コロンス島にある主要な観光地である鄭成功の彫像、菽莊花園とその脇のビーチ、日光岩などを見ることができる(船が逆回りをすることもある)。島の最も高い所にある日光岩は見る角度によっていろいろな形に見えるのもおもしろい。

料金も手頃なので、先にコロンス島を1周して、だいたいの地理を頭に入れてから、島を散策するのもよいだろう。

- ▶ 乗船場所 / コロンス島行き渡し船埠頭
- ▶ 運航スケジュール / 月~金曜=7:40~17:00の間30分に1便。土・日曜、祝日=7:40~17:30の間20分に1便
- ☎ 2104896
- 🎫 15元

鷺江ナイトクルーズ/鹭江夜游

夜間、約1時間40分かけてアモイ島やライトアップされたコロンス島の周囲を回り、アモイ島の夜景を觀賞する遊覧ツアー。コロンス島の有名な建物や日光岩がライトアップされ、さらにレーザー光線がぐるぐると回る夜景はなかなかの美しさ。このほか、アモイ大学付近の海上を走る立体交差道路(演武大橋)や、アモイ島と中国大陸とを結ぶ大きなつり橋である海滄大橋のイルミネーションも印象的。

クルーズ時間は19:30~21:10と、20:10~22:00の2回がある。ただし、2回目の乗船時には、まだ1回目の乗客が乗っているため、よい場所で景色を見たいのであれば1回目に乗ったほうがいだろう。

なお、料金に飲食代は含まれていないが、船内でも地元の閩南料理などが食べ

られる(20元~)。

- ▶ 乗船場所 / 旅游渡し船埠頭(旅游輪渡碼頭)
- ※ コロンス島行き渡し船埠頭の北側
- ▶ 運航スケジュール / 19:30、20:10発
- ☎ 2040118
- 🎫 126元

金廈海域クルーズ/金厦海域游

コロンス島や胡里山砲台を海から眺めながら、台湾が実効支配している島の海域ぎりぎりの地点までを往復するツアー。所要時間は2時間ほど。

台湾本土からの飛行機も飛んでいる金門島はアモイの東約11kmの海上に浮かんでいる。ツアーでは、その手前にある大担島の姿を見て戻ってくる。ただし、アモイから金門島までのフェリーが就航されるようになった現在では、外国人にとってそれほどおもしろいものではないかもしれない。

- ▶ 乗船場所 / 旅游渡し船埠頭(旅游輪渡碼頭)
- ▶ 運航スケジュール / 9:00、9:50、14:00発
- ※ コロンス島渡し船埠頭の北側
- ☎ 2040118
- 🎫 126元



鷺江ナイトクルーズ、金廈海域クルーズのチケット売り場



クルーズ船にはいくつかの種類がある